



SuperReporter2

2000シリーズ専用 レポート作成支援ソフト

■ 主な特長

[デジタルサイネージの運営レポートを簡単に自動作成]

デジタルサイネージの運営者は、請求書の作成に必要な再生レポートを3種類の表示方法を用いて作成できます。また、ネットワーク管理者は、定期的なパフォーマンスレビューのレポートを作成できます。

[複数のプロジェクトを同時に管理する]

異なるデジタルサイネージネットワークを同時に管理し、プロジェクトごとにレポートを作成できます。地域や顧客、コンテンツ、ビジネスモデルなどのカテゴリ別にプレーヤーを管理することも可能です。

[必要なときに必要なレポートを作成する]

分析対象期間を設定するだけで、何時でもレポートを作成できます。

[いろいろな角度から再生状態を分析する]

1日または1時間あたりの各コンテンツファイルの総再生回数と総再生時間をチェック可能な「時間ベースの比較」と、指定したコンテンツファイルの総再生回数と総再生時間をチェック可能な「ファイルベースの比較」の2つの方法で再生状態を比較できます。

[広告エージェンシー用のレポートを作成する]

再生したコンテンツのソースを直ちに分類し、広告主またはコンテンツプロバイダー向けのレポートを作成できます。

[HTML形式でエクスポート]

HTML形式でエクスポートすると、統計データや図表をインターネット経由で共有できます。

[Excel形式でエクスポート]

Excel形式でエクスポートすると、独自の分析やレポート、図表などを作成する際に便利です。

[レポートを自動および定期的に作成する]

バッチファイルまたはWindows(R) Scheduled Tasksを SuperReporter2と連携して使用すると、いろいろな種類の日次または週次レポートを自動的に作成して送信できます。作成したレポートを電子メールでマーケティング担当者に送信したり、作成したレポートをまとめて毎月1日にコンピュータに自動保存することなども可能です。

■ 技術仕様

オペレーティングシステム	Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 10
ディスプレイ解像度	1024×768またはそれ以上を推奨
プロセッサ	Intel(R) Pentium(R) 4 互換CPU またはそれ以降
メモリー	最小512MB、1024MBまたはそれ以上を推奨

HDD空き容量	プログラムおよび設定ファイル用に10MB、ログデータの保存用に20GB
備考	※操作画面は英語表示のみとなります